

梅津新聞

(近現代編②)

2020年

5月26日 火曜日

常陸太田市郷土資料館

(西二町 2186)

TEL:0294-72-3201

クイズ 音のくらし 【解答編】

3つの黒電話、
それぞれどこが進化しているかわかったかな？

コードが
進化！



ダイヤルが
進化！



ユウコ…わかった！②は、受話器にながるコードがくるくるになったね。

ミキ…正解です。くるくると巻かれて伸び縮みすること、同じ長さのコードだけ場所をとらなくなりしました。

ユウコ…②から③は数字がダイヤルの外側に書かれているね。

ミキ…よく観察していますね。②から③はダイヤルの数字の場所がかわりました。黒電話は、ダイヤルの穴に指を入れてまわして使うので、指ですべて数字が見えなくなってしまうのを防ぎます。

ユウコ…考えられてるんだね。

電話の歴史



ミキ…電話は明治9年(1876)、アメリカのベルが発明したのが始まりです。そして日本にも、写真のような壁掛け式電話機(正式には「デルビル磁石式壁掛電話機」)が入ってきました。当時の電話は、今みたいに直接相手につながるのではなく、まず電話局にかけて誰に電話したいか伝えて、つないでもらう仕組みでした。

やがて黒電話、数字の部分ボタンになったプッシュフォン、小型化された携帯電話やスマートフォンが登場しました。



↑ 壁掛け式電話機

写真の電話は「デルビル磁石式壁掛電話機」をモデルにした1989年製造のプッシュ式公衆電話です。



スマートフォンが登場していきました。日本に電話が入ってきたころは、電話料が高く、持っている家はごくわずかでした。しかし、さまざまな工夫がなされ、進歩した結果、今では各家庭に一台どころか、一人一台持っている時代になりましたね。

↓ 電話の歴史年表

時代 (西暦)	できごと
明治9年 (1876)	アメリカでベルが電話を発明する
11年 (1878)	初めての国産電話機が登場
昭和元年 (1926)	ダイヤル式の電話機が登場
8年 (1933)	黒電話が登場
44年 (1969)	プッシュフォンが登場
60年 (1985)	携帯電話が登場
平成8年 (1996)	スマートフォンが登場